

2008年度 第3四半期決算説明会



2009年2月10日(火)
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれていることがあります。しかし、実際の業績はさまざまな状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

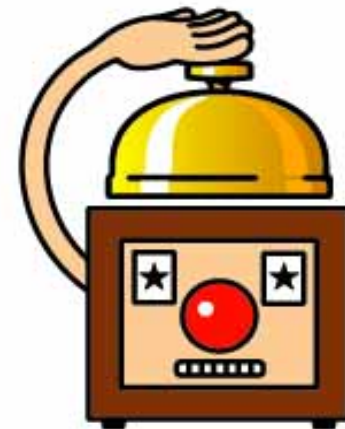


損益計算書.....	P	5
放送収入	P	6
事業収入	P	7
番組制作費.....	P	8
2008 年度業績予想	P	9
今後の戦略と取り組み	P	16
編成戦略について.....	P	19
編成・コンテンツ関連資料	P	22

第3四半期決算概況 および 2008年度業績見通し

代表取締役
会長執行役員

細川 知正



損益計算書

(単位:百万円)

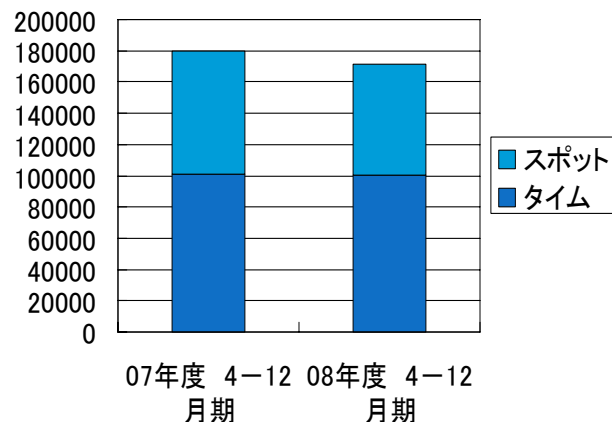
連結	2007年度 4-12月期	2008年度 4-12月期	伸率(%)
売上高	255,250	245,860	△3.7
営業利益	18,205	5,116	△71.9
経常利益	21,156	8,297	△60.8
当期純利益	9,465	1,277	△86.5

(単位:百万円)

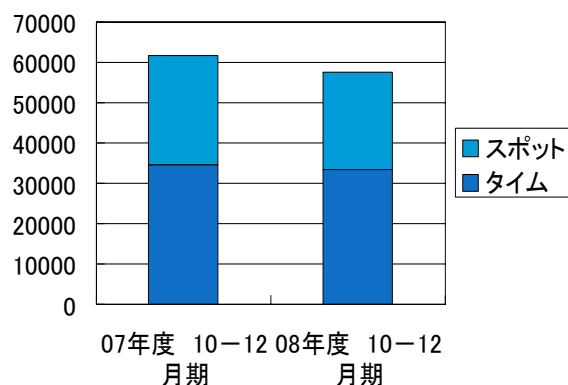
単体	2007年度 4-12月期	2008年度 4-12月期	伸率(%)
売上高	216,582	208,483	△3.7
営業利益	12,834	2,549	△80.1
経常利益	14,725	5,351	△63.7
当期純利益	6,044	12	△99.8

放送収入(単体)

(単位:百万円)



	2007年度 4-12月期	2008年度 4-12月期	比較	伸率(%)
放送収入合計	180,000	171,421	△8,579	△4.8
タイム	100,859	100,079	△780	△0.8
スポット	79,140	71,341	△7,798	△9.9



(単位:百万円)

	2007年度 10-12月期	2008年度 10-12月期	比較	伸率(%)
放送収入合計	61,705	57,583	△4,121	△6.7
タイム	34,643	33,334	△1,308	△3.8
スポット	27,062	24,249	△2,812	△10.4

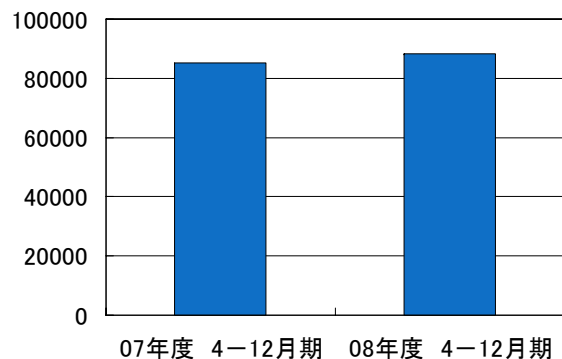
事業収入(単体)

(単位:百万円)

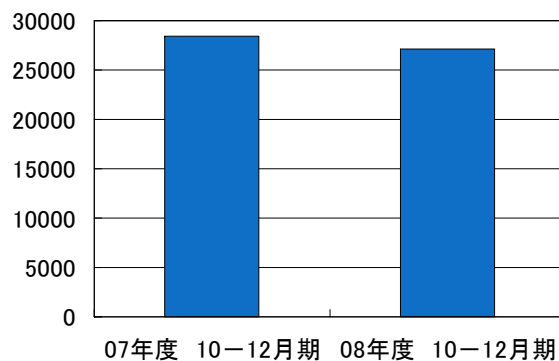
事業種別		2008年度 4-12月期	伸率(%)	2008年度 10-12月期	伸率(%)
イベント	イベント	4,625	11.7	669	△40.8
TV	BS・CS・ CATV他	3,961	13.6	1,366	12.3
コンテンツ	ライツ	1,412	△9.0	514	△16.4
	海外番販	850	△19.2	168	△5.6
	通販	5,928	△8.2	2,430	2.5
	出版	662	△9.2	255	△30.1
	映画	8,446	2.2	1,761	△64.2
	その他	244	△40.5	83	1.2
合計		26,128	0.1	7,246	△33.4

55 番組制作費(単体・管理ベース)

(単位:百万円)



	2007年度 4-12月期	2008年度 4-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	85,094	88,289	3,195	3.8



(単位:百万円)

	2007年度 10-12月期	2008年度 10-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	28,435	27,116	△1,319	△4.6

2008年度業績予想

(単位:百万円)

通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	322,500	7,500	11,300	3,100
(前回予想)	330,000	9,000	12,500	3,800
単 体	276,000	4,000	7,200	1,000
(前回予想)	280,000	4,100	7,200	1,300

(単位:円)

前提	下期	通期
タ イ ム	$\Delta 6.4\%$	$\Delta 2.9\%$
(前回予想)	$\Delta 6.3\%$	$\Delta 2.9\%$
ス ポ ッ ト	$\Delta 14.5\%$	$\Delta 12.1\%$
(前回予想)	$\Delta 9.6\%$	$\Delta 9.6\%$
制 作 費	$\Delta 8.9\%$	$\Delta 0.6\%$
(前回予想)	$\Delta 6.2\%$	0.8%

配当	中間	期末	年間
2008年度	90	90	180
(参考)2007 年度実績	75	105	180

*「前回予想」は、第2四半期発表時に開示したものになります

セグメント別予想

(単位:百万円)

通期	テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	消去 又は全社	連結
売上高	246,500	70,000	17,000	△11,000	322,500
営業利益	18,200	2,200	2,100	△15,000	7,500

設備投資額と減価償却費

(単位: 億円)

2008年度4-12月期実績	設備投資額	減価償却費
連結	38	86
単体	26	76

(単位: 億円)

2008年度通期予想	設備投資額	減価償却費
連結	50 (62)	114 (114)
単体	36 (48)	102 (103)
(2009年単体)	49	92

* ()内は、前回開示の数値です。総務省の指導により、2010年デジタル化完了に向けて今回見直しています。

[決算関連補足資料]



セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

		テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	合計	消去 又は全社	連結
主な連結子会社		<ul style="list-style-type: none"> ・日テレグループHD ・NiTRO ・AX-ON ・日テレアート 	<ul style="list-style-type: none"> ・日テレイベント ・日本テレビ音楽 ・ハップ ・日テレ7 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本テレビサービス ・日本テレビワーク24 ・日本テレビフットボールクラブ ・フォアキャストコミュニケーションズ 			
売上高	2008年度 4-12月期	186,548	54,500	12,694	253,744	△7,883	245,860
	2007年度 4-12月期	194,769	56,285	11,509	262,563	△7,313	255,250
	伸率(%)	△4.2	△3.2	10.3	△3.4	7.8	△3.7
営業利益	2008年度 4-12月期	12,685	2,197	1,207	16,090	△10,973	5,116
	2007年度 4-12月期	21,279	5,137	1,791	28,208	△10,002	18,205
	伸率(%)	△40.4	△57.2	△32.6	△43.0	9.7	△71.9

55 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2007年度 4-12月期	2008年度 4-12月期	比較
営業活動によるキャッシュフロー	19,446	12,307	△7,139
投資活動によるキャッシュフロー	△11,071	△32,156	△21,085
財務活動によるキャッシュフロー	△4,011	△4,376	△365
現金および現金同等物に係る換算差額	△19	△21	△2
現金および現金同等物の増減額	4,343	△24,247	△28,590
現金および現金同等物の期首残高	61,523	66,863	5,340
現金および現金同等物の期末残高	65,866	42,615	△23,251

業種別スポット売上順位

(10-12月期)

	2008年度10-12月期	シェア	伸率(%)	2007年度10-12月期	シェア	伸率(%)
1	電気機器	12.6	7.5	電気機器	10.5	△ 9.2
2	化粧品・トイレタリー	9.9	14.2	薬品	8.7	30.3
3	薬品	8.6	△11.4	運輸・通信	8.4	2.8
4	運輸・通信	7.1	△23.5	化粧品・トイレタリー	7.7	△ 15.1
5	アルコール飲料	7.1	31.9	輸送機器	5.7	△ 32.8
6	輸送機器	6.9	9.8	映画・演劇興行	5.6	60.9
7	スポーツ・趣味用品	5.3	△1.3	アルコール飲料	4.8	△ 10.2
8	サービス	4.7	1.9	スポーツ・趣味用品	4.8	△ 15.1
9	金融・保険業	4.4	△17.8	非アルコール飲料	4.8	3.1
10	映画・演劇興行	4.2	△32.2	金融・保険業	4.8	△ 16.0
	その他	29.2	△23.7	その他	34.3	4.6
	合計	100	△10.4	合計	100	△ 2.2

今後の戦略と取り組み

代表取締役
社長執行役員

久保 伸太郎



今後の戦略と取り組み①

①来期の制作費削減

- すべての社員、スタッフにコスト意識浸透
- すでに今期、大幅削減を達成
- この実績をもとに、着実に1000億円を切る
(単体管理ベース)

②来期の利益水準

- 配当原資を十分確保できる利益水準
- 緊急な費用発生でも利益を確保できる水準

今後の戦略と取り組み②

③「差別化」、「独自性」の追求

月～金曜日19時台に生バラエティ番組制作。
制作、編成、営業のトライアングルが機能し、
費用面で「選択と集中」を進め、トップ奪還を

④来期以降の業績見通しについて

増収に向けたタイムテーブル改革の中
費用削減と番組クオリティーの向上を実現。
市況悪化が続いたとしても利益を出す体質に

編成戦略について

取締役
専務執行役員

舩方 勝宏



今後の編成戦略①

①タイムテーブル構造改革の成果

- 2008年 年間ノンプライム 1位獲得
- コアターゲット獲得率の改善
- 現在2009年 年間4冠王
- 月曜ゴールデン・プライム帯視聴率の改善

②4月期改編の目玉「サプライズ」

- 月～金曜日19時台に生バラエティを編成

今後の編成戦略②

③すでに2008年度で大幅削減実現

- 10-12月期に13億円を削減→視聴率は向上
- 通期で前年度実績を下回る見込み

④来年度制作費1000億円切るレベル

- タイムテーブル改革含め、すでに実現のメド
- 経営資源の「選択と集中」で改革推進

[編成・コンテンツ関連 補足資料]



『タイムテーブルの構造改革』の成果

■2008年 年間ノンプライム1位

→ゴールデン・プライム・全日視聴率も底上げ
フジテレビと僅差に

■プライム帯の課題「週前半」の強化に成功

→月曜21時・22時の視聴率向上

■ベルト番組の体質及び視聴者ターゲット改善

→『ズームインSUPER』に続き、
『スッキリ!!』
『NEWS ZERO』も確実な成果



構造改革は順調に成果を収めている

中期編成戦略

放送局を取り巻く外部環境の急激な変化に対応し

更なる改革の断行を決断!!

「経営資源の選択と集中」により、
日本テレビのタイムテーブルを改革する



『日テレ体質改善』

よりフレキシブルに！
よりスピード感のある改革を！

日テレ⁵⁵ 『日テレ体質改善①』4月改編

<プライムタイム>

①平日19時台に、生放送ベルト番組を編成
『サプライズ』

- ・日テレプライム史上初となる1時間生ベルト編成！
- ・ヨコ軸のベルト企画、タテ軸の番組連動
→これまで「点」であったプライム編成を「面」に変える
- ・曜日企画、ウィークリー企画、**生コマーシャル**など、
広告主のオーダーにフレキシブルに対応

さらに、全社的プロジェクトで番組をバックアップ!!

4月改編のポイント②

<プライムタイム>

- ②ドラマを2枠にすることで、制作力や企画の集中、キャスト選定などにより、クオリティアップを実現
- ③火曜22時にF1層をメインターゲットに据えた新バラエティ番組を編成

この改革により日テレ・プライムタイムは、平日19時台のフレキシブルなベルト編成、20時以降及び週末のレギュラー番組による抜群に安定感のある編成を実現

4月改編のポイント③

<全日帯>

- ①「おもいっきり」ブランドが新MCで若返り
 午前中からの先出しで強カバックアップし
 新たな“日本の昼の顔”を目指す

- ②『ズームインSUPER』『NEWS ZERO』など
 ベルト番組発のスピノフ企画で、
 プライム特番や土日の午後帯などで特番を展開し、
 「番組のブランド価値向上」を図る

編成トピックス

①金曜ロードショー

「崖の上のポニョ」「20世紀少年」「252」
 「K-20」など去年ヒットした出資映画など
 強力な作品をラインナップ

②期末期首・戦略週編成

20時からの好調レギュラー番組の拡大や、
 大型特番の3時間編成、19時「サプライズ」の
 バックアップも加え、話題獲得と高視聴率を目指す

③その他

「エコウイーク」「ACTION」など世の中を
 動かすキャンペーンを展開する

4月期の改編率比較

	全日	ゴールデン	プライム
2005年4月期	9.2%	28.6%	27.1%
2005年10月期	27.3%	26.8%	22.5%
2006年4月期	34.9%	16.3%	17.4%
2006年10月期	14.9%	16.8%	11.4%
2007年4月期	8.0%	33.9%	36.1%
2007年10月期	28.6%	17.9%	23.1%
2008年4月期	19.3%	18.3%	20.5%
2008年10月期	15.9%	16.9%	22.3%
2009年4月期	26.3%	37.5%	34.5%

視聴率状況

2009年1月 平均視聴率 (2008/12/29-2009/2/1)

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	9.2	7.6	9.0	8.1	3.6	44.9
昨年同期	9.2	7.7	8.8	8.0	4.0	45.1
プライム	13.7	11.4	13.6	12.4	7.1	65.2
昨年同期	13.4	11.4	13.2	12.5	7.7	65.4
ゴールデン	13.7	11.4	13.6	11.9	7.5	66.5
昨年同期	13.2	11.5	13.6	12.0	8.1	66.8
ノンプライム	7.9	6.5	7.7	6.9	2.5	39.1
昨年同期	8.0	6.6	7.5	6.8	2.9	39.2

視聴率状況

2008年度下半期 平均視聴率 (2008/9/29-2009/2/1)

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.5	7.5	8.6	8.0	3.4	43.4
昨年同期	8.5	7.5	8.9	8.2	3.8	43.6
プライム	12.8	11.4	13.4	12.5	7.2	64.7
昨年同期	12.9	11.0	14.0	12.9	7.8	64.9
ゴールデン	13.1	11.4	13.2	11.9	7.6	66.1
昨年同期	12.8	11.2	14.1	12.2	8.2	66.3
ノンプライム	7.3	6.4	7.2	6.7	2.4	37.3
昨年同期	7.3	6.5	7.4	6.9	2.6	37.5

テレビ55 2008年度主な映画ラインアップ

	タイトル	公開	配給	摘要
	それいけ！ アンパンマン	7月12日	東京テアトル メディアボックス	映画＆テレビ20年記念作品、 開局55年記念作品。「妖精リンリンのひみつ」
	崖の上のポニョ	7月19日	東宝	スタジオジブリ 宮崎駿監督の最新作品 動員数1260万人を超える今年一番の大ヒット作
共同幹 事	スカイ・クロラ	8月2日	ワーナー・ ブラザース	開局55年記念作品。 押井守監督の最新アニメ大作
幹事 作品	20世紀少年	8月30日	東宝	開局55年記念作品。 浦沢直樹原作の人気コミックの実写映画 3部作の第1章。動員数300万人を突破
幹事 作品	252－生存者あり	12月6日	ワーナー ブラザース	開局55年記念作品。監督は 「舞妓Haaaan!!!」の水田伸生（NTV社員）
幹事作 品	K-20 怪人二十面相・伝	12月20日	東宝	開局55年記念作品。 「三丁目の夕日」のスタッフによるアクション映画
幹事 作品	20世紀少年 (第2章)	2009年 1月31日	東宝	開局55年記念作品。 3部作にわたる壮大な物語の第2章
共同幹 事	ヤッターマン	3月予定	日活 松竹	伝説のアニメの実写版映画

テレビ55 2009年度主な映画ラインナップ

	タイトル	公開	配給	摘要
幹事作品	おっぱいバレー	4月	ワーナー・ブラザーズ/東映	中学校のダメバレーボール部が若い女性顧問によって変わっていく青春ストーリー。綾瀬はるか主演
幹事作品	20世紀少年 最終章	8月	東宝	浦沢直樹原作の人気コミックの実写映画3部作の第3章。原作と異なる驚愕の結末!!
幹事作品	サマーウォーズ	8月	ワーナー・ブラザーズ	09年一押しのアニメ。「時をかける少女」の細田守監督の最新作
	プール	9月	未定	「カモメ食堂」「めがね」のスタッフ・キャストが送る癒し系映画第3弾。今回の舞台はタイ
	なくもんか	11月	東宝	宮藤官九郎脚本、阿部サダヲ主演、水田伸生(NTV)監督。大ヒット「舞妓Haaaan!!!」チーム第2弾
幹事作品	カイジ	10月	東宝	藤原竜也主演。福本伸行の原作は、1100万部突破の大ヒットコミック。監督は佐藤東弥(NTV)
幹事作品	BANDAGE(仮)	2010年 1月	東宝	映画初主演:赤西仁×監督・音楽:小林武史×脚本:岩井俊二のミクスチャーが生み出す音楽映画

55